

全国協議会 ニュース

発行所
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒130 東京都墨田区
東駒形1-16-7
第1ホークプラザ303号
TEL.(03)3625-7307
発行責任者
運営委員長 渡辺孝一

中郵便振替口座
00150-4-15754
(変更になりました。御注意を)
中銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655

署名第1回は 衆参各107万名分を提出 会長は衆参両院議長に陳情



署名簿の山を前に海部会長が記者会見、左は下村議員

骨髄医療体制の拡充と整備を
求める誓願署名の国会提出の第
一回目を五月十日に行ないまし
た。

当日は午前十一時に海部会長
出席のもと、衆議院第二議員会
館第三会議室で、下村泰参議院
議員、丹羽雄哉元厚相ら十数名
の国会議員が参加し、署名提出
の記者会見が持たれました。在



紹介議員提出前の署名簿整理(議員会館会議室で)

京全局のテレビをはじめ、新聞
ラジオ等のマスコミ陣で会場は
満杯となりました。

当日全国から集まったボラン
ティアは六十名あまり、中でも
十七万人の署名を集めた新潟か
らは二十五名がバスを借り切っ
て参加しました。記者会見後、
ボランティアが手分けをして、
衆参合わせて百七十八名の国会
議員の部屋を訪ね、署名提出の
紹介議員となつてもらいました。

当日の提出署名数は衆参とも
百七万人分、合わせて二百十四
万人分の署名用紙は、会見場に
うす高く積み上げられました。獲得署
名は既に各百七十万名分を超え
ており、最終的には二百万名に
届きそうな勢いで、現在集計と
整理が続けられています。残る
署名は議員連盟設立に合わせて
六月中にも提出することになり
ます。

高、当日国会は羽田新首相の
施政方針演説がありました。が、
その忙しい合間を縫って、海部
会長は土井たか子衆議院議長と
原文兵衛参議院議長を訪ね、三
権の長の二人に骨髄バンク事業
の推進について陳情しました。



講演する関口所長

体制強化をはかり 五年目の運動に 新たに茨城の会が加盟

全国協議会
第五回通常総会

五月二十二日、東京・港区勤
労福祉会館で全国協議会第五回
通常総会が開かれました。

総会には、海部会長、服部・
宮戸両顧問、来賓として厚生
省・須納瀬課長補佐、財団・高
久副理事長、日赤・岩田課長、
各地から五十名を超える代表者
が参加。会費の引き上げを含む
諸提案を原案どうり決定し、新
役員体制は、副委員長の増、事
務局長の新設など、一層強化
したものとりました。

総会後の記念講演は、「骨髄バ
ンクとその将来」と題して北海
道血液センター所長の関口定美
氏に講演していただきました。



新運営委員の皆さん

- | | | |
|--|--------|------------|
| 道血液センター所長の関口定美氏に講演していただきました。 | 役員 | 海部幸世 |
| また、新たに加盟申し込みのあった「茨城骨髄バンク」を広める会の加盟を承認し、代表の岸川さんの挨拶に大きな拍手が送られました。 | 顧問 | 服部純一 |
| 平成六年度 | 会長 | 宮戸征美 |
| 運営委員長 | 副運営委員長 | 渡辺孝一(神奈川県) |
| 事務局長 | 事務局長次長 | 陽田秀夫(福島) |
| 運営委員 | 事務局長 | 野村正満(東京) |
| | | 大谷貴子(名古屋) |
| | | 和田昭人(関西) |
| | | 田中幸一(九州) |
| | | 秋山良実(埼玉) |
| | | 三田村真(静岡) |
| | | 高山茂房(北海道) |
| | | 小野喜代人(宮城) |
| | | 小林弘樹(新潟) |
| | | 福崎豊一(東京) |
| | | 木村紀(千葉) |
| | | 松尾忠雄(神奈川県) |
| | | 等原慶一(埼玉) |
| | | 小栗利朗(名古屋) |
| | | 平田浩三(関西) |
| | | 北村猛(九州) |
| | | 吉ヶ江治道(弁護士) |
| | | 田中重勝(岐阜) |

「いのちの船」 全国キャラバン 6月22日いよいよスタート

昨年七月北海道興尻島を襲つた地震と津波で流され、四ヶ月も日本海を漂流した漁船「大幸丸」は焼却処分が検討される中、再び「いのちの船」として骨髄バンクのキャンペーンでよみがえることになりました。

患者登録開始記念日の六月二十二日から七月三日まで、主に関東地方を中心にキャラバンが展開されます。キャラバンは実行委員会と骨髄移植推進財団の共催、全国協議会の後援で行な

■骨髄バンクの最新情報をお知らせする——骨髄バンクNOW

お送りしています。現在リーフレットを作成中で、本格的に始まるのは6月中旬からになる見込み。

- ◆ドナー登録者5万人へ
4月末日現在、一次検査済みのドナー数が48,985人となり、5月中には5万人を超えることが確実になりました。
- ◆コーディネーター(100人)の一般公募
患者登録は1,915人(移植済みも含む)で、生きるチャンスの確率がだんだん高くなってきています。
- ◆134例の移植手術実施
4月末日までに、134例の移植が実施されました。退院をした方も40人を超えているそうです。(詳細は追跡調査中)
- ◆サポーター制度いよいよ始まる
財政難が表面化してきている骨髄移植推進財団では、運営費の一助にサポーター制度を導入し、一般国民から小口寄付を募ることになりました。既に、新聞などによる問い合わせに対し、振込み用紙を

お問い合わせは 0120-377-465
フリーダイヤル 0120-377-456

アントラーズの ポスター 完成!

今人気最高潮のJリーグ。十二チームの中でも昨年前期優勝の実力人気チーム鹿島アントラーズの骨髄バンク応援ポスターを全国協議会で作りました。

「いのちのVゴール」と題されたこのポスターは鹿島アントラーズがその写真やキャラクターの使用も無償で使用することを快諾してくれて実現することになりました。加盟各団体等にお送りしましたので、有効な活用をお願いいたします。何か熱狂的ファンに盗まれそうで心配です。

われませんが、運営には各地加盟団体の全面的な協力により実施されます。

キャラバンが展開される各都県では、それぞれ知事あてのメッセージが手渡されることになっていきます。

「いのちの船」キャラバン予定

六月二十二・二十三日	東京
六月二十四・二十五日	静岡
六月二十六日	山梨
六月二十七・二十八日	埼玉
六月二十九・三十日	千葉
七月一・三日	神奈川

「いのちの船」

船外機はもぎとられたが、損傷はわずかな「いのちの船(大幸丸)」

そして、心が動きだす。

あなたと伝えあえたら、うれしい
あなたとわかりあえたら、うれしい
いつでも、どこでも、あなたと……

そんな心と心がふれあうシーンに、わたしたちNTTは、いつも一緒にいたい。

NTT

心からのご寄付を ありがとうございました

4月19日～5月18日まで

大三川篤	現金	3,000
田頭政三郎	現金	12,000
椎野佳世子	現金	1,000
村上泰一	切手	2,009
菊地清香	切手	1,764
田中裕子	現金	1,000
志賀京子	現金	5,000
長尾嘉英	現金	5,000
阿原一良	現金	10,000
青和幼稚園	現金	2,000
飯塚和恵	切手	8,172
酒本昌彦	現金	20,000
カガミサチコ	現金	30,000
千葉英介・西	現金	10,000
とちぎ骨髄バンクを広める会	現金	870
神奈川県骨髄移植を考える会		
(円覚寺ヒアノ三重奏の夕べより)	現金	200,000

(順不同 敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座
さくら銀行 新宿支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
全国骨髄バンク推進連絡協議会



各地の 「たより」

各地のたよりを 写真を添えて お寄せ下さい。

宮城 「一番目だつた 石巻支部」

四月二十四日、日和ライオンズクラブ主催の青空まつりが、合同庁舎前駐車場で開催され、あいにくの朝からの小雨にもかかわらず、大勢の人たちが参加して、いろいろな出展のテント前で買物を楽しみました。

石巻支部も全国協議会の、のぼりを数ヶ所に立て、出展料もなく借りたテントの中でチャリテイバザー用品、テレホンカード、絵はがき等の販売をしたり、



神奈川 「相模原市で 初シンポ」

五月二十一日、相模原市のあじさい会館で県立こども医療センターの長尾先生を講師にシンポジウムを開催しました。

今回の特徴は二つ。まずは企画段階から神奈川県、相模原市、中央ライオンズクラブ、神奈川「考える会」の三団体による実行委員会が組織され、予算もそれぞれ出し合っています。もう一つ

東京 「山伏の火渡りと フリーマーケット」

東京の三大横丁を御存知ですか。アメヤ横丁と鍋屋横丁、それと青物横丁です。



品川寺の火渡り荒行は素人も渡る

関東 「キャンパスロッグの エネルギーが骨髄バンク」

「HOT J.A.M.94」と題する骨髄バンクキャンペーンライブを七月九日夕方から東京代々木公園野外ステージで開催すべく準備が進んでいます。関東近県大学のロックグループ組織「関東大学生音楽連盟」の主催で、マホネット21との連携によるものです。

既に青学・中大・慶応・立教など十一大学の参加が確定し、更に参加を呼びかけています。経費はすべて参加バンドが負担し、入場料はとらず、その上ドリンクと軽食まで無料で提供する予定です。

当日のキャンパ活動による収益は財団に寄付することになっていきます。

三重 「紀州と 四日市に支部」

勇気の会は、県が設置した「三重県骨髄バンク推進協議会」の事業推進部でもあり、毎月一回定例会を開き、会員の情報交換と普及啓発の各種事業を計画・

21歳の別離

中堀由希子 白血病とのたたかいに青春の死をかけて

遠藤 允

18歳のとき、慢性骨髄性白血病を発病。1993年1月12日死亡、享年21歳。全国で大反響を呼んだCMのヒロイン、中堀由希子さん。死に直前まで、ひたすら骨髄移植を待ち望んだ若き患者の遺言。

●定価1,500円(税込)

学研 TEL 03(3726)8158

鎮魂21歳 涙と感動のドキュメント

いのち煌めいて 久野弘編著

由希子 白血病と闘った青春

闘病2年余、美しくも壮烈な人生ドラマは、21歳で燃え尽きた。ニュージランド留学、闘病生活、骨髄バンクとの出会い、移植そして、生前、骨髄バンクのキャンペーンガールとしても頑張った中堀由希子さんの遺志は永遠に生き続ける。

B6判/204頁/定価1,200円 予310円

中日新聞本社

〒460-11 名古屋市中区三の丸1-6-1
電話(052)221-0509 振替 名古屋9-10

萌文社

三瓶和義・正子編 A4変型・定価二五〇〇円 予310

七十年間の短い生涯を閉じたあやちゃん、将來画家を夢みた絵の大好きな少女。本書は病気にくじけず、いっばい生きてきたあやちゃんからの贈り物。生きる勇気と励ましを与えてくれる感動画集。

八千枚の絵を残し白血病の少女は逝った。描かれた夢の世界が遂に感動画集として刊行!!

『あやちゃん』の贈り物

絵に託した生命の輝き

〒102 東京都千代田区富士見1-5-12
TEL03-3221-9008 FAX03-3221-1038

頭痛のタネ、肩の重荷、首がまわらない、不景気な顔、足の引っぱりあい、勇み足、骨肉の争い、明日胃カメラ、プレッシャー、取り越し苦労、空まわり、板バサミ、ムカムカ、イライラ、モヤモヤ、ムシャクシャ、ギクシャク、セクハラ、未練タラタラ、内気、エッチ、良心の呵責、永すぎた春、単身赴任、親子の断絶、理由なき反抗、五里霧中、四面楚歌、諸行無常、煩惱、出来心、退屈、理想と現実のギャップ、失意のどん底、お先まっ暗、不吉な予感、気のせい、ツキがない、楽しくないでお悩みの方に、フジテレビ。

フジテレビ

翔べ！白血病の息子よ

橋本明子著

息子の発病を機にバンク運動を始めた。しかしバンク設立と入れ替わるように息子は逝ってしまつた。闘病と運動の息詰まる日々を「月刊Asahi」連載の同時進行ドキュメントより

46判二四四頁、一七〇〇円

海鳴社

東京都千代田区西神田2-4-5
(03) 3234-3643 (Fax共通)

骨髄バンクシンポジウム三重

主催/三重県・三重県骨髄バンク推進協議会・勇気の会

字病院でシンポジウム(写真)を行いました。実施したのは医師、看護婦および看護学生の方々も骨髄移植とバンクの必要性についてまだ情報が不足していると感じたからです。多くの参加があり終了後の懇親会も楽しく大成功でした。

勇気の会としては、紀州と四日市に支部が出来ました。紀州支部では設立シンポジウムを大谷さんに来て頂き実施しました。今後も成分献血の推進と合わせて活動していきます。

実行しています。平成五年度は十二月に伊勢市にある山田赤十字

あなたと創る Creating Together 三菱自動車

シートベルトをしめて、スピードをひかえめに。安全運転は三菱の願いです。

ひとりひとりに優しさを、FUSOの技術。

その荷物を心待ちにしている人がいます。
その笑顔に早く会いたいと願う人がいます。
たくさんの暮らしを支えて走る三菱FUSOのトラック・バス。
より安全・快適に、地球の未来やドライバーのことを考えて、
ヒューマンな技術を開発し、新時代のニーズに答えています。
あなたのそばにも、FUSOの創造力と総合力。

創造力と総合力。トラック・バスは三菱ふそう。

MITSUBISHI FUSO